

プロポーザル評価表

1. 業務名

2. 所属事務所

3. 方式

4. 選定通知日

5. 特定通知日
- 令和8年度 港湾施設被害度診断システム改良検討業務

名古屋港湾空港技術調査事務所

簡易公募型プロポーザル方式

—

令和8年7月24日

・同種業務:港湾施設の地震応答解析による耐震照査業務又は耐震設計業務 ・類似業務:港湾施設(係留施設:重力式に限る)の設計を行った業務(実施設計を除く)					令和8年度港湾施設被害度診断システム改良検討業務ニュージェック・沿岸技術研究センター設計共同体
評価項目			要件	ウェート	
配置 予定 管理 技術者の 経験 及び 能力	資格要件	技術者資格	下記の順位で評価する。 ①技術士(総合技術監理部門(建設ー港湾及び空港)、建設部門(港湾及び空港))又は博士(工学又は学術)(但し、「学術」については「工学」に関連する研究分野に限る)を保有 ②RCCM(港湾及び空港部門)(港湾関係の実務経験が3年以上ある者とする)を保有 ③APECエンジニア(Civil、Structural又はIndustrial)、土木学会認定土木技術者(特別上級、上級又は1級)又は発注者が同等の能力と経験を有すると認めた者	15	15.00
	専門技術力	業務執行技術力	平成23年度以降公示日までに完了した同種業務の実績の有無について、下記の順位で評価する。 ① 同種業務の実績がある。 ② 類似業務の実績がある。	15	15.00
	専門技術力	業務執行技術力	令和5年度以降令和7年度末までに完了した全地方整備局、国土技術政策総合研究所及び沖縄総合事務局(いずれも港湾空港関係)発注業務の同じ業種区分(建設コンサルタント等)の請負業務成績評定点の平均点。	44	41.00
	専門技術力	業務執行技術力	令和4年度以降令和6年度末までに完了した中部地方整備局(港湾空港関係)発注業務のうち、「建設コンサルタント等業務」において、優良業務技術者表彰および担当した業務の優良業務表彰の有無、「海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度」により認定・表彰された港湾空港関係の業務「建設コンサルタント等業務」における「海外インフラプロジェクト優秀技術者国土交通大臣賞」又は「海外インフラプロジェクト優秀技術者国土交通大臣奨励賞」の有無、または中部地方整備局(港湾空港関係)の災害協定等に基づく災害活動実績「建設コンサルタント等業務」に係る局長表彰(感謝状)又は事務所長表彰(感謝状)の有無。	6	0.00
					71.00
実施方針・実施フロー・工程表・その他			業務理解度	20	14.67
			実施フローの妥当性	20	12.00
			工程計画の妥当性	20	13.33
			その他	20	14.67
					54.67
特定テーマ 港湾施設被害度診断システムの機能拡充(施設追加、機能拡張)を検討するうえでの着眼点と具体的な検討手法			業務目的との整合性	40	26.67
			着眼点、問題点、解決方法等の論理的整理・業務への有効性	40	29.33
			説得力	40	26.67
			提案内容の裏付け	40	26.67
					109.33
WLB(ワーク・ライフ・バランス)推進企業			①次のいずれかの認定を受けている場合に評価する。 1)女性活躍推進法に基づく認定等(プラチナえるぼし・えるぼし認定企業等) 2)次世代法に基づく認定(プラチナくるみん・くるみん(令和7年4月1日以降の基準)・くるみん(令和4年4月1日～令和7年3月31日までの基準)・くるみん(平成29年4月1日～令和4年3月31日までの基準)・くるみん(平成29年3月31日までの基準)・トライくるみん(令和7年4月1日以降の基準)・トライくるみん(令和4年4月1日～令和7年3月31日までの基準)認定企業) 3)若者雇用促進法に基づく認定(ユースエール認定企業) ②認定を受けていない	2	2.00
					2.00
合 計					237.00

※合計値において四捨五入のため、各項目の合計とは整合しない場合がある。